



島根県内で見つけた「エシカル」につながる（エシかってる）行動や事柄を Facebook で紹介しています。

暖かい「ご飯」は、田んぼの稲作から。
おかずの野菜は、畑から。
魚は、近くの漁港に上がったもの。
そんな食卓を前に、島根は「食」の起源をたどりやすい恵まれた環境にあると感じる。
ところで、今、着ている洋服は、どこでどうやって作られたものだろう？

詳細な情報が分かるのは購入した店くらいで、製品のタグを通して、縫製した国や原材料が僅かに伝わるくらい。工場環境や縫い手の様子に想像は及ばない。



「衣」の起源をたどることが難しくなったこの時代に、その全ての流れを島根県内で手掛け、見守ることのできるプロジェクトがスタート。綿を栽培し糸にする事業者、織機を使って糸から布を織る作家、パターンを立ち上げ布から洋服を仕立てる作家という3人の若者がリレーしてプロジェクトは進行する。

最初のステージは、綿の栽培圃場のある雲南市内山王寺。発芽したばかりの綿の苗を定植するイベントが開催された。「だいたい20本でTシャツ1枚ができます」「綿の花はお盆の頃に咲きます」自然の話と事業の説明を聞きながら1時間ほどの農作業を終えた。

しばらくは自然の力に任せ、実った綿を摘みとるのは11月。糸から布になり、製品が完成するのは1年ほど。原料作物の成長を見守り、織り手の元で布になり、洋服に仕立てられた「洋服」の完成を見終わった時、「衣類」の生産者の存在を身近に感じられるのか？このプロジェクトを追いかける自分の意識の変化が、これから少し楽しみだ。



「エシカル消費」の推進 「エシカル (ethical)」とは、「倫理的、道徳的」という意味の英語。「エシカル消費」とは、より良い社会に向けた、人や社会、環境などに配慮した消費行動のことです。詳しくは、島根県消費とくらしの安全室の「エシカル消費の推進」のページをご覧ください。

https://www.pref.shimane.lg.jp/life/syoku/shohi/kurasi\_info/ethical.html

島根県環境生活部環境生活総務課
消費とくらしの安全室（島根県消費者センター）
〒690-0887 島根県松江市殿町8-3

島根県消費者センター
Facebookはこちらから→
facebook.com/Shimane.CIC

